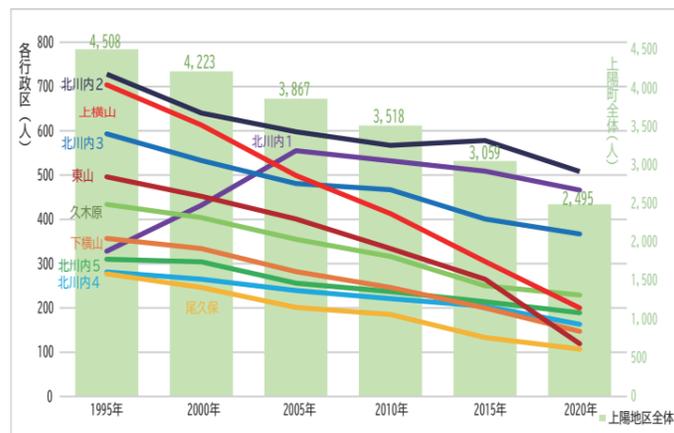


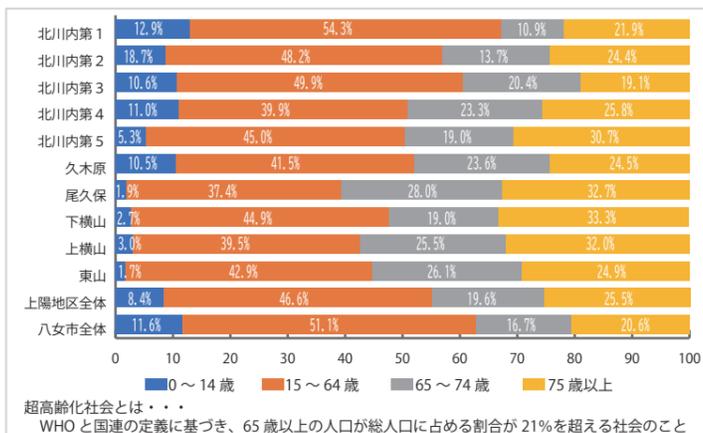
# 上陽地区のいま

## 国勢調査小地域集計から見た上陽地区の実態

1995年から2020年の25年間で約2,000人の減少  
人口が増加していた北川内第1も2005年以降は減少

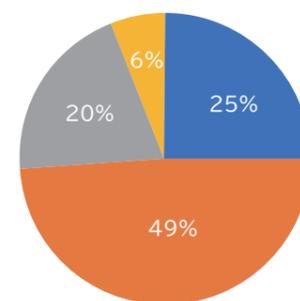


65歳以上の人口割合は  
超高齢化社会の基準(21%)を上回る45.1%

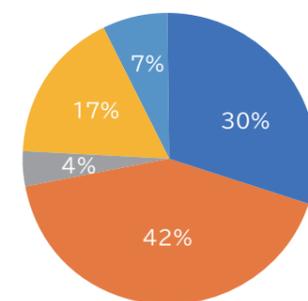


## まちづくりアンケートの集計結果から

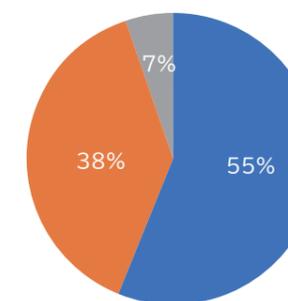
高校生以上の74%が  
「住みよい」



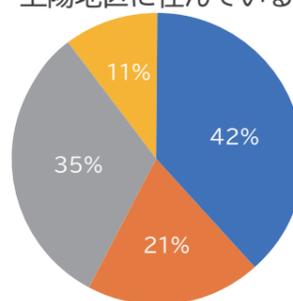
高校生以上の72%が  
今後も「住み続けたい」



小中学生の93%が  
上陽地区が好き



小中学生の42%が  
生まれてからずっと  
上陽地区に住んでいる



# 基本理念『誰もが「ここに生まれてよかった」「ここに来てよかった」と思えるまち』を実現するために

## 基本目標と主要施策項目、具体的な取り組み

### 基本目標 I

#### 安心安全の維持

##### (1) 自然災害に対する安全対策

- ① 災害時の要支援者に対する支援
- ② 連絡網の確立
- ③ わかりやすい防災情報の提供
- ④ 防災訓練の実施
- ⑤ 災害時のライフライン確保、避難弱者対策
- ⑥ 災害が想定される崖や河川の点検、危険時の通報

##### (3) 防犯対策

- ① 登下校時の見守り活動
- ② 防犯灯の設置
- ③ 空き家の防犯対策と活用
- ④ 防犯カメラの設置



##### (4) 水源の確保

- ① 安心安全な飲料水確保・水源の維持

##### (5) 行政との協働

- ① 道路・河川維持活動(道路愛護など)
- ② 環境保全活動(不法投棄など)、迷惑行為取り締まり
- ③ 合併浄化槽の普及促進と農業用水・排水路の保全
- ④ SDGs目標達成に向けた取り組み

### 基本目標 II

#### 高齢者、障がい者の支援

##### (1) 高齢者、障がい者の生きがい対策

- ① ふれあいの場(集う場)の創出
- ② 高齢者の知恵や技術を生かす取組み
- ③ 収入に結び付く軽作業の掘り起こし
- ④ シニアクラブ活動の活性化と充実

##### (3) 健康づくり対策

- ① 健康料理教室
- ② 健康スポーツ教室
- ③ ウォーキング活動の推進



### 基本目標 III

#### 子育ての支援

##### (1) 子どもの育つ環境

- ① 子どもたちへの声かけ見守り活動
- ② 子育て世代と経験世代との交流会
- ③ 子どもの居場所づくり、安全の家、遊び場等マップ
- ④ 食育活動
- ⑤ 医療費、教育費の補助等
- ⑥ 子育て世代のための住宅整備(市営の若者住宅等)

### 基本目標 IV

#### 伝統文化の継承

##### (1) 伝統行事、文化の継承

- ① 各地区に残る由来の伝承
- ② 地域行事の継承(神事への参加)
- ③ 上陽の歴史文化の継承
- ④ 文化活動の開催



### 基本目標 V

#### 地域交流

##### (1) コミュニティ活動の促進

- ① あいさつ・声かけ運動(年代を問わず誰にでも)
- ② 新たな地域コミュニティづくり(関係人口の増加等)

- ③ 地域間交流イベントの開催
- ④ 多世代交流イベントの開催
- ⑤ 男女共同参画の推進(女性グループ活動の推進)
- ⑥ 地域おこし協力隊、集落支援員との協力・活用



### 基本目標 VI

#### 産業振興

##### (1) 農業収入の安定化

- ① 特産品開発(6次産業化)の研究
- ② 中山間地に適した作物の研究
- ③ 直売(ネット販売)の企画
- ④ 地産地消の推進
- ⑤ 鳥獣対策の推進(特に猪・鹿対策、ジビエとしての活用)

##### (2) 後継者や担い手育成

- ① 新規就農者の受け入れ
- ② 結婚相手の仲介
- ③ 農業法人の育成

##### (3) 働く場所の確保

- ① 企業誘致による働く場所の確保
- ② リモートの活用(サテライトオフィス等)



### 基本目標 VII

#### 公共施設の活用

##### (1) 既存施設の活用

- ① 上陽地区観光交流施設(旧ぼたると石橋の館)の活用
- ② ふるさとわらべ館の活用
- ③ 支所と公民館の複合化

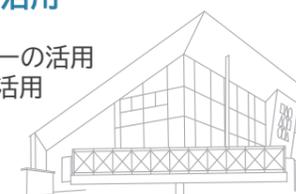
- ③ 横山小学校跡地の活用
- ④ 尾久保小学校跡地の新たな活用策検討

##### (2) 学校跡地の活用

- ① 北川内小学校跡地の検討と活用
- ② わらべの里研修センターの活用

##### (3) 地元譲渡施設の活用

- ① 栗林公民館の活用
- ② 東山ふれあいセンターの活用
- ③ 久木原グラウンドの活用



### 基本目標 VIII

#### 上陽ならではの魅力づくり

##### (1) 観光資源の活用

- ① ホテルと銘茶まつり
- ② 八女上陽まつり(きんま選手権大会)
- ③ ホテルを守る活動
- ④ 石橋を守る活動
- ⑤ 農村景観保全(耕作放棄地対策等)
- ⑥ 祇園祭(みこし・花火)

- ② 家庭菜園付き空き家情報の発信
- ③ 週末農業者向け貸農園情報の発信
- ④ 農林業体験情報の発信
- ⑤ ICT等を活用した上陽を知ってもらう活動

##### (2) 情報通信発信と活用促進

- ① 地域紹介情報誌の発行

##### (3) 都市農村交流

- ① 観光施設(わらべ館・ほたる館)連携、吊り橋再架橋
- ② さるこ(フットパス)コース整備
- ③ グリーンツーリズムの推進、収益事業化



# まちづくりアンケート・ワークショップでいただいた意見

## 子どもから高齢者まで みんなが楽しく安心して 暮らせるまち

- ・みんなが笑顔で暮らせ、生き生きとしたまち
- ・普段の生活が当たり前と感じる環境の整備がされたまち
- ・家族の温かさのあるまち

## 災害や事件事故のない 安心安全なまち

- ・災害に強く、犯罪や事故のない安心安全なまち
- ・高齢化しても孤立せずに安心して生活できるまち
- ・事件、事故が0のまち
- ・みんなが笑顔で安心できるまち

## 地域資源の活用 施設活用・施設整備

- ・地場産業で地域が活性化していけるまち
- ・子供からお年寄りまで利用できる施設があるまち
- ・ほたと石橋の館をもっと活用
- ・人が集まる観光施設等を作る

## 知名度を上げる

- ・みんなが来てくれるまち
- ・有名なまち
- ・「上陽」といったら誰でも知っているようなまち

## 住みたいと思えるまち

- ・上陽を好きと思う人が増えるまち
- ・子供たちが大きくなって住みたいと思えるまち

## 近隣住民との交流、地域活動・イベント

- ・近所付き合いが気軽にできるまち
- ・やりたいことにトライできるまち
- ・気軽に参加できるイベントがあるまち
- ・すれ違う人があいさつをし合うまち
- ・共生の力があるまち

## (全アンケートより) 将来の上陽地区を どのようなまちにしたいか

### 明るい未来 元気・活力のあるまち

## 明るい未来 元気・活力のあるまち

- ・地域に賑わいが戻ってくるまち
- ・賑やかで楽しいまち、元気があるまち
- ・豊かなまち、明るいまち
- ・明る未来が展望できるまち

## 子育て環境が充実し ファミリー層が移住してくるまち

- ・若い世代がたくさん移住してくるまち
- ・ファミリー層が増えるまち
- ・たくさんの子供が集うまち
- ・集落で子供の声が聞こえるようなまち

## 生活利便性・公共交通の利便性

- ・便利なまち
- ・誰でも満足できるような場所
- ・交通の便がいいまち
- ・バス等が山間部にも1日10便近く運行するまち
- ・年をとって車に乗らなくても買い物ができるまち
- ・小さい店でもいいので2~3店舗あるまち

## 自然環境保全・景観保全

- ・自然がいつばいのままの上陽
- ・ホテルの数をもとに戻す
- ・ごみのない、きれいで緑豊かなまち

## 女性の活躍

- ・女性の声をもっと取り入れたまち
- ・女性がリーダーになれるまち

## 企業誘致・雇用

- ・働く環境があるまち
- ・この土地で働けて生活が出来るまち
- ・若い人材に来てもらえるようなまち

## 人口増加

- ・人口増加で将来性のあるまち
- ・人口を増やす

(小中学生 アンケートより)

## 好きなところ・自慢できるところ 満足しているところ

- 思い出がある
- 自然豊か 川がきれい
- 山に囲まれ、緑が多い
- 友達がたくさんいる 学校が楽しい
- 近所の人優しい みんなが元気なところ
- 地域の人とのつながりが深いところ
- あいさつがたくさんできるところ

(第一回策定委員会 ワークショップより)

## 上陽の資源・誇り

上陽は自然豊かで誇りにすべきことが多い

- ホテルと石橋の里 義務教育学校がある
- ホテル・川遊び等観光客が来る 上陽北訥学園の国際交流
- 上陽の石橋を代表するひふみよ橋
- 地域のコミュニケーションが良い ダニエル イノウエ
- 人の心があたたかい
- 自然環境が良い
- 春の山公園のタイル画
- 北川内公園のさくらまつりライトアップ

## 計画策定までのながれ

- 令和5年 5月 第一回策定委員会
- 6月 第二回策定委員会
- 7月 アンケート調査実施
- 8月 アンケート回収
- 9月 アンケート集計・分析
- 10月 第一回ワークショップ
- 第三回策定委員会
- 11月 第四回策定委員会
- 12月 第二回ワークショップ
- 第五回策定委員会
- 令和6年 1月 第六回策定委員会
- 2月 まちづくり協議会運営委員会  
地域振興計画製本
- 3月 計画書配布

## アンケート協力

- 対象 ①高校生以上の上陽地区全居住者 2,163名  
②上陽北訥学園1年生から9年生 130名
- 有効回答率 ①61.0% (1,320名 / 2,163名)  
②59.2% (77名 / 130名)

## ワークショップ参加者

- 第一回 32名 第二回 22名

# 上陽地区 地域振興計画 (第2次) 概要版

上陽地区の  
目指す  
将来の姿

誰もが「ここに生まれてよかった」  
「ここに来てよかった」と思えるまち

老若男女、心身に障がいのある方もない方も、  
上陽地区に生まれた方も、他所から引っ越されてきた方も、  
上陽地区を訪れた方も誰もが「よかった」と思えるまち

令和6年3月

上陽地区まちづくり協議会